

第95回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成28年9月15日（木）

沖縄総合事務局

第95回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成28年9月15日（木）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 「海技試験室」

出席者：

公益委員 宮里委員、儀部委員、春田委員
労働者委員 姫路委員、大崎委員
使用者委員 宮城委員、伊禮委員、大城委員

沖縄総合事務局 野原船舶船員課長、宮里海事振興調整官
宮城課長補佐、普天間専門官

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第94回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第94回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成28年8月分）
3. 平成28年度若年内航船員確保推進事業

宮里部会長

皆様こんにちは。定刻となりましたので、第95回船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願ひします。

事務局（普天間専門官）

本日は、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員3名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

～配付資料確認～ 以上です。

宮里部会長

それでは、始めに第94回船員部会の議事録の承認についてお諮ります。お手元に配付されています議事録を御確認ください。

御異議はございますでしょうか。ないようでしたら、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「異議なし」）

宮里部会長

それでは、異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」につきまして、事務局にご説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。よろしくお願ひします。

事務局（宮城補佐）

平成28年8月分の管内雇用状況等の概要について報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は12件でした。前月に比べ2件減少、前年同月に比べ7件増加となっております。

月間有効求人数は25件でした。前月に比べ2件増加、また、前年同月に比べ増減なしとなっております。

月間有効求人数25件の内訳としましては、商船等23件、漁船2件となっております。月末未済求人数は14件でした。

●求職状況について

新規求職数は6名でした。前月に比べ3名増加、また、前年同月に比べ3名減少となっております。

新規求職数6名の内訳としましては、商船等5名、漁船1名とな

っております。

月間有効求職数は14名でした。前月に比べ増減なし、また、前年同月に比べ11名減少となっております。

月間有効求職数14名の内訳としましては、商船等12名、漁船2名となっております。

月末未済求職数は10名でした。

●成立状況について

8月は2件でした。

●求人倍率について

8月の月間有効求人倍率は、1.79倍でした。

前月に比べ0.15ポイント増加、また、前年同月に比べ0.79ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

8月の新規求職者6名のうち、離職者3名の退職理由としましては、船舶所有者都合が1名、自己都合が2名となっております。離職以外の方3名の求職理由としては、全員が就業中に転職を希望するものでした。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が4名、管外が2名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は1名、支給延べ件数は1件で、基本手当支給金額は140,242円、その他の支給はなく、総支給額は140,242円でした。

以上で管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますか。

大崎委員（労）

3ページの月間有効内訳表の中で、機関部の求人ですが、トータルで17名いまして、月末未済内訳表では9名となっていますが、この他も全てでこのような形で減っていますが、機関部の方が非常に差が多いのかという気がしますがこれはどういう現象ですか。月末未済と月間有効との関連ですがどうして減ったのですか。

事務局（宮城補佐）

期間満了で引き続き求人されなかつたことと、1件取り下げがありまして、それで件数は減っています。

大崎委員（労）

有効期間が切れたということですね。

事務局（宮城補佐）

そうです。期間満了です。

大崎委員（労）

それでしたら、有効期間が切れた中で再度その求人をしなかったという形で減ってきたということですね。

事務局（宮城補佐）

はい、今回はそのような形になっています。

大崎委員（労）

これは今月有効期間が切れますね。その次にすぐに再度続けて求人をかけられるのですか。

事務局（宮城補佐）

そうです。求人も求職も期限が切れるときにどうしますかということを投げかけます。

大崎委員（労）

継続でいけるという形であればどうなりますか。

事務局（宮城補佐）

新たに同じものをまた出していくという形になります。

大崎委員（労）

それで今、全国的にも非常に機関部の職員が少ないという中で、各社悩まれているところがあると思います。それでこの数字を見ても2桁という数字の17名も求人がきている状況の中で、成立がないということを考えると、ここに求職されている方が6名おられるということは、考えたらもったいないという気がします。積極的にエンジン（機関部）の方の求職をしている以上は、当然免許もお持ちだと思うので、ミスマッチがあれば良くないですが、できればそういうところにあっせんしてもらい、そこで船員となるべく受け入れて乗せていただければと思います。

事務局（宮城補佐）

たしか機関部の求職者の方への紹介状況ですが、すごくたくさんありますがなかなか成立しない。60歳を超える高齢者の方もおられるので、本当に自分が気に入ったところでないと就職されないとすることもあるので、なかなか機関部は難しいです。

大崎委員（労）

厳しいですね。非常にどこも機関部の職員を探されているので、例えば機関部の方がいなかつたら船が止まるので、そこは非常に危惧しているところです。だからそのところをもう少し積極的にで

さればと思うのですが、ちなみに60歳以上の機関部の方が2名おられます。この方は相当高齢な方ですか。

事務局（宮城補佐）

64歳と68歳の方ですね。期間的な雇用でも構わないということではあります。なかなか、やはり求職者が船のことをよく知つておられるので、そこに行かないということですね。

大崎委員（労）

そうですね。なかなか。やはりある意味でずっと経験者ですので、そこは柔軟にいってもらえば。

事務局（宮城補佐）

しかし、70歳近くになっても仕事をしたいということですから。

大崎委員（労）

それを考えれば、キャプテンなんかは非常に夜目遠目というのがあるからいいのだけれど、機関部の方は結構年齢が高くて乗られています。そこは現役世代につなぐ意味でも乗っていただければありがたいとは思うのですが。今後ともまた積極的に成立させていただければと思います。よろしくお願ひします。

宮里部会長

何かほかにありますか。

ないようでしたら、議事3の意見交換に移りたいと思いますが何かござりますでしょうか。

他にないようであれば事務局から連絡がありますのでお願ひします。

事務局（普天間専門官）

資料3につきまして、内航船員の確保等として実施しております。若年内航船員確保推進事業の途中経過を簡単に説明します。

6月末に海事セミナーを石垣市で実施し、8月に沖縄水産高校と水産高校実習船で体験学習、7~8月に就業体験（インターンシップ）を沖縄水産高校と宮古総業実業高校の水産系高校の2校と、今回初めて水産系高校以外で八重山高校と八重山農林高校の生徒に3名という人数ですが体験していただきました。

あと、沖縄水産高校で実施した体験学習が明日9月16日の10時45分の「海D.O.宝」という番組で、90秒と短い時間ですが、テレビ放映される予定です。お時間がありましたら、是非ご覧になつていただければと思います。

あと事務連絡ですが、10月の船員部会は、10月20日（木）に2階の共用会議室Cで14時から開催いたします。出席できない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、いつもどおりメールで照会させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。

現在、更新の手続きをしております沖縄地方交通審議会委員及び臨時委員の任命につきましては、現在手続きをしている最中です。来月の船員部会開始前に、辞令交付式を執り行う予定です。この件につきましては再度ご連絡いたしますのでよろしくお願いします。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了します。ありがとうございました。